

**給与 R4 給与支払報告書（総括表）様式変更対応／  
他社システム 源泉徴収票連携対応版(Ver.20.20)のリリース**

「給与 R4 年末調整対応版 令和 2 年(Ver. 20. 10)のリリース」では、オフィスステーション 源泉徴収票データ連携（給与応援 R4 Lite・Weplat 給与応援 R4 Lite・法定調書顧問 R4 除く）について、Ver. 20. 15 として 2021 年 1 月上旬にリリースする旨ご案内していましたが、給与支払報告書（総括表）についても対応が必要であることが判明し、Ver. 20. 20 として全製品のリリースを行うこととなりましたので、ご連絡いたします。なお、当内容は変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

- 1. 発行プログラムと対象バージョン
- 2. リリース時期および注意点
- 3. 改正の概要
- 4. システムの対応内容
- 5. 他社システム連携機能（源泉徴収票）

## 1. 発行プログラムと対象バージョン

次のプログラムを発行します。

システム名	リリースバージョン	データ変換対象バージョン	保守加入対象バージョン
給与・法定調書 R4	Ver.20.20	Ver.19.10 以降	Ver.20.10 以降
給与・法定調書顧問 R4			
給与応援 R4 Premium			
給与応援 R4 Lite			
Weplat 給与応援 R4 Premium			
Weplat 給与応援 R4 Lite			
法定調書顧問 R4			

※Ver.20.20 はライセンスが変更になります。Ver.20.2 用のライセンス取得が必要です。

※R4 シリーズのアプリケーションを初めてセットアップする際、E i ボードが自動でセットアップされます。E i ボードは Ver.20.20 以降がセットアップされている必要があります。

※ネットワーク環境でご利用の場合は、別途 [ネットワーク基本ライセンスサーバー版] および接続端末台数分の [ネットワーク基本ライセンスクライアント版] が必要です。アプリケーションは同時接続数ライセンス仕様となります。

※給与・法定調書 R4 と給与・法定調書顧問 R4 は同一コンピューターでは共存できません。

※給与応援 R4 Lite／Weplat 給与応援 R4 Lite は 1 ユーザーで使用する製品です。

※法定調書顧問 R4 のバージョンアップはありません。

給与応援 R4 Lite と法定調書顧問 R4 のマニュアル・ヘルプの記載は Ver.20.10 のまま変更されません。Ver.20.20 の変更点については [サポートメニュー] → [今回の変更点] をご確認ください。

## 2. リリース時期および注意点

### 2-1.E i ボードダウンロードマネージャーの公開（予定）

2021年1月6日（水）

### 2-2.マイページのダウンロード公開（予定）

2021年1月6日（水）

### 2-3. CDオプション契約ご加入のお客様のCD送付開始日（送品開始日予定）

2021年1月20日（水）

### 2-4.電子申告プログラムについて（給与応援R4 Liteを除く）

ダウンロード公開（予定）：2021年1月6日（水）

※本体プログラムと同日公開の予定です。

システム名	発行プログラム	バージョンアップ対象
給与・法定調書 R4	e2	Ver.20.20 Ver.20.20.e1
給与・法定調書顧問 R4		
給与応援 R4 Premium		
法定調書顧問 R4	e1	Ver.20.20

・バージョンアップ前に電子申告システムをご利用の場合は、Ver. 20. 20. e1（法定調書顧問 R4 除く）となりますが、ファイル出力はできません。（自動連動はできますが、動作保証外です。）必ず、バージョンアップをしてください。

・電子申告更新用プログラム Ver.20.e2（法定調書顧問 R4 は Ver.20.e1）をセットアップするためには、給与 R4 システムのバージョンが Ver.20.20 以降である必要があります。また、給与 R4 システムをアンインストールし再セットアップする際は、電子申告更新用プログラムも一緒にアンインストールし、給与 R4 システム・電子申告更新用プログラムをセットアップし直す必要があります。

## 2-5.ライセンス認証について

Ver.20.20 はライセンスが変更になります。

バージョンアップ時の Ver.20.2 用のライセンス認証については前回のライセンス取得方法によって次のようになります。

前回のライセンス認証	Ver.20.2 用ライセンス取得
オンライン認証	インターネットに接続している場合は、オンライン認証による Ver.20.2 用のライセンス取得をします。 ライセンスの種類が「年間ライセンス」の場合は、「オンライン認証」のみ選択可能な画面になります。
オフライン認証	インターネットに接続していない場合は、オフライン認証により Ver.20.2 用のライセンス取得をします。 ただし、以下の場合は手続きが異なります。 ①保守加入・CD オプション契約有（スタンドアローン版） 以前のバージョンで CD 保守ライセンスにより認証済みの場合、ライセンス取得画面は表示されません。 今回ライセンス CD が送付されたお客様は、その CD を使用して認証を行ってください。 ②保守加入・CD オプション契約有（ネットワーク版） 「ライセンス CD」を送付しますので、これによりライセンス認証を行ってください。 ③Weplat Lite（CD 版） 年間ライセンスの利用期間中は、 <u>ライセンス取得画面は表示されません。Ver.20.2 用のライセンス取得は不要です。</u>
代理認証	インターネットに接続していないが、インターネットに接続している別のコンピュータがある場合は、代理認証により Ver.20.2 用のライセンス取得をします。

※Weplat/Weplat Lite（ダウンロード版）は、「オンライン認証」によるライセンス取得のみ可能です。

※Weplat Lite（CD 版）は「オフライン認証」によるライセンス取得のみ可能です。

※Weplat（ダウンロード版）・Weplat Lite（CD 版）以外の製品は、「オンライン認証」「オフライン認証」「代理認証」いずれのライセンス取得も可能です。

## 2-6.データの互換性

会社データは、全ての給与システム（給与・法定調書 R4、給与・法定調書顧問 R4、法定調書顧問 R4、給与応援 R4 Premium、給与応援 R4 Lite）のデータ相互でバックアップ・リストアによって移行することができます。

### ■データ共有利用時や会計事務所－顧問先間でバックアップ・リストアを行う際の注意点

共有元（または共有先）は Ver.20.20－共有先（または共有元）は Ver.20.10 の環境でデータ共有することができますが、バージョンが異なりますので問題が発生する場合があります。（特に給与支払報告書（総括表）の集計）データ共有をする場合は、共有元・共有先それぞれのバージョンを一致させてからデータ共有するようにしてください。

バックアップ・リストアについてもバージョンを一致させてから相互にやり取りをするようにしてください。

Ver.20.10 で給与支払報告書（総括表）の処理をしたデータを Ver.20.20 の環境で地方税の電子申告ファイル出力を行うと、総括表の集計が不正になります。必ず、Ver.20.20 の環境で給与支払報告書（総括表）の画面を開いて [確定] してからファイル出力してください。

## 3. 改正の概要

### 3-1.改正の概要

給与支払報告書（総括表）について、提出先の市区町村ごとに様式が異なるため帳票作成作業が煩雑であったことから様式統一に向けた見直しが行われました。これに伴い、令和2年7月27日付で、地方税法施行規則の一部を改正する省令（令和2年総務省令第67号）が公布されました。

給与支払報告書（総括表）の様式変更は令和3年1月1日より施行されます。

総務省 | 地方税法施行規則の一部を改正する省令（令和2年総務省令第67号）

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000699372.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000699372.pdf)

総務省 | 個人住民税の給与支払報告書（総括表）の様式統一に向けた見直し

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000697224.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000697224.pdf)

## 4. システムの対応内容

### 4-1. 給与支払報告書／総括表 様式変更対応

給与支払報告書（総括表）の様式変更に伴い、統一様式に準じて入力画面 および 出力帳票を変更します。給与支配報告書（総括表）は市区町村それぞれに様式が異なるため、提供する様式では項目が不足する（または一致しない）場合があります。市区町村によっては、システムで印刷した給与支払報告書（総括表）ではなく、市区町村から送付された給与支払報告書（総括表）に転記して提出を求めているケースもありますので、市区町村の指示に従って提出するようにしてください。

#### ■入力画面

様式の変更に伴い、以下の項目を変更します。

[共通項目] タブ

- ・「納付書の送付（要／不要）」欄を追加  
※初期値は「要」で設定されます。必要に応じて変更してください。

[市町村別項目] タブ

- ・「報告書人員」「(内)退職者」「(内)特別徴収」「(内)普通徴収」欄を「報告人員」「(内)普通徴収 退職者」「(内)特別徴収 在職者」「(内)普通徴収 退職者以外」に変更

Ver.20.20バージョンアップ時、初回会社選択で、給与支払報告書（総括表）の [市町村項目別] タブの集計および上書項目をクリアします。Ver.20.10で給与支払報告書（総括表）の処理が完了していた場合は、Ver.20.20で処理をやり直す必要があります。

また、Ver.20.10. - Ver.20.20間でデータ共有やバックアップデータのやり取りをすると、地方税電子申告ファイルを出力する際に、総括表の集計が不正になる場合がありますので、バージョンが一致した状態でやり取りをするようにしてください。

## 4-2. その他の対応

以下の障害に対応します。

- ・従業員／個別入力：[給与計算・所得税・住民税] タブの住民税の区分に「市町村(納付先)」が含まれていない問題に対応します。
- ・従業員／個別入力：住民税の設定方法で「月別」を選択し、[月別税額] をクリックして月別税額の設定画面を表示すると、合計欄の一部が欠ける問題に対応します。

## 5. 他社システム連携機能（源泉徴収票）

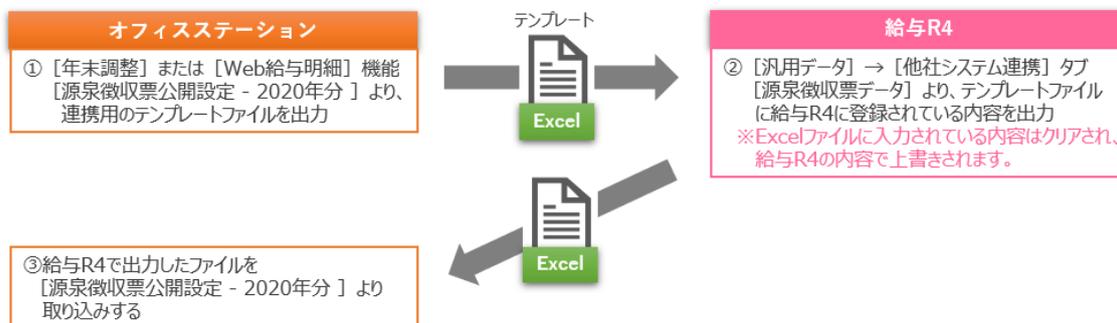
### 5-1. オフィスステーション 源泉徴収票連携機能（給与応援 R4 Lite／Weplat 給与応援 R4 Lite ／法定調書顧問 R4 除く）

「オフィスステーション」源泉徴収票に連携するファイル出力機能に対応します。

株式会社エフアンドエム「オフィスステーション」「オフィスステーションPro」は、クラウド型 労務・人事管理システムです。別途ご契約が必要です。

[汎用データ] → [他社システム連携] タブのオフィスステーション連携欄に [源泉徴収票データ] のボタンを追加します。この機能は令和2年分データのみ使用できます。

#### ■連携の流れ



#### ■出力対象データ

- ・年調計算欄に「済」「済（変）」が表示されている従業員
- ・オフィスステーションと給与 R4 に登録されている従業員コード／従業員名／生年月日がすべて一致する従業員（従業員名・従業員名カナの姓と名の間スペースが必要）

※オフィスステーションから出力された源泉徴収票データ（Excel ファイル）に登録されている従業員が給与 R4 ファイル出力時の更新対象となります。給与 R4 のみに登録されている従業員を追加で登録することはできません。

## 5-2.Web給金帳 源泉徴収票連携機能（給与応援 R4 Lite／Weplat 給与応援 R4 Lite

／法定調書顧問 R4 除く）

Web 給金帳をご利用のお客様で源泉徴収票の連携を希望される方向けに、個別対応でプログラムを提供する予定です。

対象のお客様は、販売代理店までご連絡ください。

以上、よろしくお願いたします。